

頻回の観察[○] 補液[] 特別食の給餌[] 栄養剤の投与[] 鎮痛薬の投与[○]

抗生物質の投与[○]

その他[] (具体的内容については以下に記入してください。)

9. 非外科的処置の詳細		
(1) 処置に使用する薬剤	当該年度 使用する頭数	全研究期間に 使用する頭数
麻酔薬名:塩酸ケタミン、キシラジン	6	6
鎮痛薬名:		
その他の薬物名:		
(2) 処置の種類 (次の項目に必要な事項を記入してください。)	当該年度 使用する頭数	全研究期間に 使用する頭数
採血方法及び採血量(ml/kg/月/頭) ケタラール麻酔下で採血量:約10 mL/頭/回 脳脊髄液採取量:約1 mL/頭/回 3ヶ月毎に1回	6	6
組織又は細胞の移植 (ヒト由来組織細胞を用いる場合には研究倫理審査委員会の承認が必要です。) 組織の種類:BSE感染発症したカンクイザルの脳組織(乳剤) 細胞の種類:	6	6
無麻酔で動物の拘束を5分以上する場合の理由・方法		
安楽殺した動物からの臓器摘出 (摘出臓器名) 脳、脊髄、末梢神経、脾臓	6	6

その他の処置		
--------	--	--

10. 実験終了後のサルの処置 ※該当する項目がある場合に必要な項目の[]内に○をつけてください。また、必要な事項を記入してください。

(1) 処分の方法 ※感染実験、組換えDNA実験又はカテゴリーCの実験に用いた個体は安楽殺を前提とします。

医薬基盤研究所への返却[] 安楽殺[]
 その他[](具体的内容については以下に記入してください。)

(2) 不用臓器等の提供 ※希望する他の研究者に提供するため、感染実験及び組換えDNA実験に用いた個体の不要臓器等は提供できません。

提供する[] 提供しない[]
 その他[](具体的内容については以下に記入してください。)

11. 生物学的安全性 ※該当する項目がある場合に必要な事項を記入してください。実験内容に応じて、別途、医薬基盤研究所の各種委員会の審査が必要となりますので、基盤研研究対応者に問い合わせてください。

(1) 感染性微生物の使用	当該年度 使用する頭数	全研究期間に 使用する頭数
微生物名BSEプリオン 微生物のバイオセーフティーレベル: レベル2 ・ <u>レベル3</u> 感染経路:脳内接種 投与量:200 μl (バイオセーフティ委員会承認番号: 申請中)	6	6
(2) 組換えDNAの投与 (機関内承認実験・大臣確認実験)	当該年度 使用する頭数	全研究期間に 使用する頭数
投与する組換え体: 投与経路: 投与量: (組換えDNA実験安全委員会承認番号:)		
(3) ヒト由来生物製剤の投与	当該年度 使用する頭数	全研究期間に 使用する頭数
製剤名: 投与経路:		

投与量: (研究倫理審査委員会承認番号:)		
(4)その他の検体・異種動物由来材料等の使用 (具体的に記入してください。)	当該年度 使用する頭数	全研究期間に 使用する頭数
種類: 投与経路: 投与量:		
(5)上記の使用に伴う安全取扱及び事故発生時の対応方法 (動物室内での同室の動物に対する対応、飼育担当者及び周囲の者並びに施設に対する注意並びに事故発生時の対応方法を具体的に記入してください。)		
<p>プリオン病は異常型プリオン蛋白により伝達するが、基本的には空気感染・飛沫感染・接触感染はしない。しかし、体液に含まれる可能性は否定できないため、嘔まれないように注意する。特に脳から流出した体液は、感染する可能性があるので注意する。万が一、手指に付着した場合は、1N NaOH を、局所的に塗布し、擦らずに流水で洗い流す。</p>		

12. 化学的安全性 ※該当する項目がある場合に必要な事項を記入してください。実験内容に応じて、別途、医薬基盤研究所の化学物質委員会の審査が必要となる場合がありますので、基盤研研究対応者に問い合わせてください。		
(1)発がん物質、毒素又は他の危険物の投与	当該年度 使用する頭数	全研究期間に 使用する頭数
物質名: 投与経路: 投与量: (化学物質委員会承認番号:)		
(2)性質不明の物質の投与 (具体的に記入してください。)	当該年度 使用する頭数	全研究期間に 使用する頭数
物質名: 投与経路: 投与量: 予想される効果:		
投与物質の安全取扱並びに事故発生時の対応方法 (動物室内での同室の動物に対する対応、飼育担当者及び周囲の者並びに施設に対する注意並びに事故発生時の対応方法を具体的に記入してください。)		

13. 申請者が現在までに行った本申請に関連した研究業績リスト(10件以内)

1. Yuji Kamatari, Yosuke Hayano,, Kei-ichi Yamaguchi, Junji Hosokawa-Muto, *Kazuo Kuwata: Characterization of anti-prion compounds according to the binding properties to the prion protein. Protein Science. (in press) (査読有)
2. Tsutomu Kimura, Junji Hosokawa-Muto, Yuji O.Kamatari, *Kazuo Kuwata: Synthesis of GN8 derivatives and evaluation of their antiprion activity in TSE-infected cells. Bioorganic & Medicinal Chemistry Letters 21, 1502-1507 (2011) (査読有)
3. Tsutomu Kimura, Junji Hosokawa-Muto, Kenji Asami, Toshiaki Murai, *Kazuo Kuwata: Synthesis of 9-substituted 2,3,4,9-tetrahydro-1H-carbazole derivatives and evaluation of their anti-prion activity in TSE-infected cells. Eur. J. Med. Chem. 46, 5675-5679 (2011) (査読有)
4. Junji-Hosokawa Muto, Tsutomu Kimura, *Kazuo Kuwata: Respiratory and cardiovascular toxicity studies of a novel anti-prion compound, GN8, in rats and dogs. Drug and Chemical Toxicology (in press) (査読有)
5. Sanghera N, Correia BE, Correia JR, Ludwig C, Agarwal S, Nakamura HK, Kuwata K, Samain E, Gill AC, Bonev BB, Pinheiro TJ:Deciphering the Molecular Details for the Binding of the Prion Protein to Main Ganglioside GM1 of Neuronal Membranes, Chemistry & biology 18 1422-31
6. Takeshi Ishikawa and *Kazuo Kuwata: Interaction Analysis of the Native Structure of Prion Protein with Quantum Chemical Calculations. J. Chem. Theory Comput. 6, 538-547, 2010 (査読有)
7. Yamamoto N, *Kuwata K. Regulating the Conformation of Prion Protein through Ligand Binding. Journal of Physical Chemistry B. 113, 12853-12856, 2009 (査読有)
8. Ishikawa T, Ishikura T, *Kuwata K. Theoretical study of the prion protein based on the fragment molecular orbital method. Journal of Computational Chemistry. 30, 2594-2601, 2009 (査読有)
9. Hosokawa-Muto J, Kamatari YO, Nakamura HK, *Kuwata K. A Variety of Anti-Prion Compounds Discovered through an in silico Screen Based on PrPc Structure:A Correlation Between Anti-Prion Activity and Binding Affinity Antimicrobial Agents and Chemotherapy. 53,765-771,2009 (査読有)
10. *Kuwata, K., Nishida, N., Matsumoto, T., Kamatari, Y.O., Hosokawa-Muto, J., Kodama, K., Nakamura, H. K., Kimura, K., Kawasaki, M., Takakura, Y., Shirabe, S., Takata, J., Kataoka, Y., Katamine, S.: Hot spots in prion protein for pathogenic conversion. Proc. Natl. Acad. Sci. USA 104: 11921 - 11926 (2007).

14. 苦痛及びストレスの程度

カテゴリー (計画された動物実験がいずれのカテゴリーに属するか、必ず該当する項目の[]内に○をつけ、以下の例を参考にして、その根拠を明確に記入してください。なお、いずれのカテゴリーに属するか判断しかねる場合は、基盤研研究対応者に問い合わせてください。)	当該年度 使用する頭数	全研究期間に 使用する頭数
カテゴリーA [](動物に対してほとんど不快感を与えないと思われる実験処置)		
(例) ・実験を行うために、動物を掴んで保定すること ・あまり有害でない物質の投与又は少量採血等の簡単な処置 ・深麻酔により意識のない動物を用いた実験で、処置後に不快感を伴わないこと ・短時間(24時間以内)に飼料や水分を与えないこと ・適切な処置により動物を安楽殺処分すること ・重篤な症状を伴わない非致死性(感染)動物実験	/	/
カテゴリーB [○](動物に対して軽微なストレス又は短時間持続する痛みを伴う実験) 麻酔下による脳内接種、P3アイソレータ内での長期飼育、継時的採血、髄液採取、神経症状によるストレス等を総合してカテゴリーBと評価した。	6	6
(例) ・カテーテルを長時間挿入する	/	/

<ul style="list-style-type: none"> ・フロイントのアジュバントを用いた免疫 ・麻酔状態における外科的処置で、処置後に軽度の不快感を伴うこと ・重篤な症状を伴う非致死の(感染)動物実験 		
カテゴリーC [] (避けることのできない重度のストレスや痛みを伴う実験)		
(例) <ul style="list-style-type: none"> ・行動学的実験において、故意にストレスを加えること ・麻酔状態における外科的処置で、処置後に著しい不快感を伴うもの ・苦痛を伴う解剖学的又は生理学的処置 ・苦痛を伴う刺激を与える実験で、動物がその刺激から逃れられない場合 ・無麻酔下で長時間(数時間以上)に渡って動物の体を保定すること ・無麻酔下で痛みを与えること ・動物が耐えることができる最大に近い痛みを与えること(動物が激しい苦痛の表情を示す場合) ・重篤な症状を伴う致死の(感染)動物実験 		

15. 安楽殺法 ※該当する項目の[]内に○をつけてください。

[] 過剰量のバルビツール系麻酔薬の注射

[] 深麻酔下での放血

[] その他 (方法を以下に記入してください。)

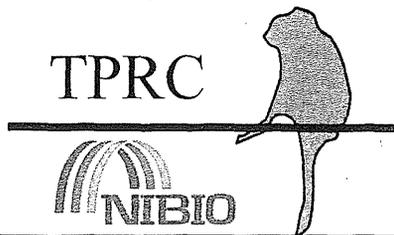
16. 本申請に関連する研究費の応募・受入等の状況(予定を含む。)

資金制度・研究費名・研究期間 (配分機関等名)	研究課題名 (研究代表者氏名)	役割 (代表・ 分担の別)	平成24年度研究経費 (期間全体の研究費総額) (千円)
厚生労働省科学研究費補助 金・平成 24～26 年 (厚生労働 省)	プリオン病に対する低分子シャペロン治療薬 の開発	代表	198,806 千円 (990,419 千円)
			()
			()

17. 研究支援希望の有無: 有・無

(どちらかに○をつけてください。また、「有」の場合、研究支援内容を具体的に記入してください。なお、希望に沿えない研究支援もあり得ます。)

脳内接種、採血、脳脊髄液採取、行動観察、MRI 撮像、解剖



Tsukuba Primate Research Center
National Institute of Biomedical Innovation
Hachimandai1-1, Tsukuba, Ibaraki 305-0843 JAPAN
Phone:+81-29-837-2121, Fax:+81-29-837-2121

平成25年6月7日

岐阜大学
大学院連合創薬医療情報研究科・人獣感染防御研究室
桑田 一夫 先生

霊長類医科学研究センター・動物実験計画承認書送付

平素より大変お世話になっております。
標記の件につきまして、下記の課題の動物実験計画承認書を同封いたしますので、ご査収のほど、
よろしくお願い申し上げます。

研究課題名： 低分子シャペロンによるプリオン感染霊長類の治療研究

以上

筑波総務課・共同利用施設担当
独立行政法人医薬基盤研究所
霊長類医科学研究センター
〒305-0843
茨城県つくば市八幡台1-1
TEL: 029-837-2121(代)
FAX: 029-837-0218

平成25年 4月 24日

岐阜大学大学院
連合創薬医療情報研究科
人獣感染防御研究
桑田 一夫 殿

独立行政法人医薬基盤研究所
理事長 米 田 悦 啓 印

動物実験計画承認書

平成25年3月28日付けをもって申請のあった動物実験計画書については、
下記のとおり承認します。

記

承認課題名：低分子シャペロンによるプリオン感染霊長類の治療研究

承認番号：DS25-30

条 件：本実験は、基盤研のバイオセーフティ委員会および所属の研究
機関における動物実験計画書の承認後実施すること。

送付ご案内

送付日 2013年6月24日

岐阜大学 大学院連合創薬医療情報研究科
大学院医学系研究科 遺伝発生学分野 (併)
応用生物学部野生動物管理学研究センター人獣感染防御研究室 (併)
学術院 生命科学研究部門 教授
桑田 一夫 先生

株式会社新日本科学 安全性研究所
〒891-1394 鹿児島県鹿児島市宮之浦町 2438
TEL : 099-294-2600 FAX : 099-294-3619
安全性研究所 実験研究部

佐藤 万里



拝啓

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

変更販売動物 1 例の「細菌検査証明書」を 2 部送付致します。
ご査収の程宜しくお願い申し上げます。

敬具

本送付状は御社にて保管してください。

細菌検査証明書

株式会社新日本科学にてツベルクリン検査を実施し、以下の結果を得た。

No	動物種	性別	個体番号	検査実施日	判定日	検査結果
6	カニクイザル	雄	110760C	2013年06月21日	2013年06月24日	陰性

獣医師： 船戸 護



日付： 2013年06月24日

細菌検査証明書

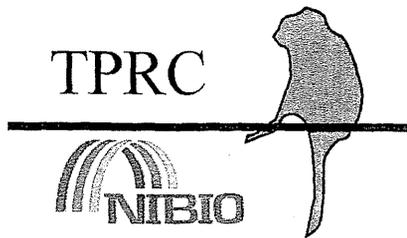
株式会社新日本科学にて赤痢菌およびサルモネラ検査を実施し、以下の結果を得た。

No.	動物種	性別	個体番号	検査実施日	判定日	検査結果
6	カニクイザル	雄	110760C	2013年06月21日	2013年06月22日	陰性

獣医師： 船戸 護



日付： 2013年06月24日



Tsukuba Primate Research Center
National Institute of Biomedical Innovation

Hachimandai-1, Tsukuba, Ibaraki 305-0843 JAPAN

Phone:+81-29-837-2121, Fax:+81-29-837-0218

平成 25 年 7 月 18 日

岐阜大学大学院
連合創薬医療情報研究科
桑田一夫先生

平素より大変お世話になっております。
病原体等取扱申請承認書をお送りいたしますので、ご査収くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。本書の送付が遅くなりまして大変申しわけございませんでした。

独立行政法人医薬基盤研究所
霊長類医科学研究センター
岡村智崇（代理：藤田）
〒305-0843
茨城県つくば市八幡台 1-1
Tel : 029-837-2125
Fax : 029-837-0218

病原体等取扱使用承認書

保富 康宏 殿

承認番号: BSL3-R-13.02

病原体 BSE 感染牛プリオン又はカニクイザル馴化プリオン (BSL1/BSL2/BSL3) について、
平成 25 年 5 月 / 日 から 平成 26 年 3 月 3 / 日 までの使用を承認します。

医薬基盤研究所 研究所長



様式 2

平成 25 年 7 月 16 日

国立大学法人岐阜大学大学院

連合創薬医療情報研究科

桑田 一夫 様

一般社団法人予防衛生協会

代表理事 吉川 泰弘



検疫結果通知書

平成 25 年 6 月 13 日に依頼のありました検疫につきましては、
別添検疫結果報告書のとおりとなりましたので通知いたします。

なお、検疫結果報告書についてのお問い合わせは検疫責任者（冷
岡 昭雄）まで連絡を下さるようお願い申し上げます。

別 添

検疫結果報告書

平成 25 年 6 月 25 日に入荷したカニクイザル 6 頭の検疫は、平成 25 年 7 月 16 日に終了した。

総括コメント

- 1) 栄養状態は 6 頭いずれも良好と判断された。
- 2) 検疫期間中、異常出血、食欲不振等著しい異常は全頭について認められなかった。
- 3) 赤痢菌検査は全頭陰性であった。
- 4) ツベルクリン反応試験は全頭陰性であった。
- 5) サルモネラ検査は全頭陰性であった。
- 6) 蠕虫卵検査は 6 月 26 日の 1 頭（通番 6）の落下便から鞭虫卵が検出されたため、2 週おきに 2 回という投薬スケジュールに従い、6 月 28 日と 7 月 12 日に駆虫薬（ドロントールプラス錠：各 1/4 錠）を計 2 回経口投与した。
なお、7 月 9 日の蠕虫卵再検査では陰性と判断された。
- 7) 血液・血清生化学検査では全頭について異常は認められなかった。
- 8) Bウイルス抗体、サル水痘ウイルス（SVV）抗体は全頭陰性であった。
- 9) サルレトロウイルス（SRV）の抗体および DNA-PCR 検査は全頭陰性であった。

なお、個々の検疫結果については、別添検疫結果報告表に記載した。

一般社団法人 予防衛生協会



検疫責任者 冷岡 昭雄



獣医師 岡林 佐知

検疫結果報告表

一般社団法人  予防衛生協会

通番 1 個体番号 1021306010
 サル種 カニクイザル 産地 日本
 入荷日 2013/6/25 検疫終了日 2013/7/16

現地個体番号 111590C 収容ケージ 53110
 性別 ♂ 生年月日 2011/10/9

		検収時	第1回	第2回	第3回	終了前検査	備考
年月日		2013/6/25	2013/6/26			2013/7/9	
体重 (Kg)		1.87				1.97	
栄養状態		+				+	
細菌検査	ツベルクリン反応	-				-	
	赤痢菌	-					
	サルモネラ	-					
ウイルス検査	Bウイルス	-				-	
	サル水痘様ウイルス	-				-	
	SIV						
	STLV						
	SRV(抗体/DNA-PCR)	-/-				-/-	
	麻疹ウイルス						
寄生虫	蠕虫卵		-				
血液・血清生化学検査	WBC	$\times 10^2 / \mu l$	97			123	
	RBC	$\times 10^4 / \mu l$	599			538	
	HGB	g/dl	14			13	
	HCT	%	43.5			39.0	
	MCV	fl	72.6			72.5	
	PLT	$\times 10^4 / \mu l$	32.3			24.7	
	W-SCC	$\times 10^2 / \mu l$	55			88	
	W-LCC	$\times 10^2 / \mu l$	42			35	
	TP	g/dl	7.5			7.3	
	BUN	mg/dl	9.1			20.9	
	GLU	mg/dl	60			43	
	GPT	IU/l	36			28	
	CRP	mg/dl	0.08			0.07	

検収時検査所見
 特記事項なし。体温(直腸温): 38.5°C

終了前検査所見
 特記事項なし。体温(直腸温): 38.5°C

検疫終了判定所見
 検疫終了判定基準を満たした。

検疫終了 : **可**

担当獣医 岡林 佐知

検疫結果報告表

一般社団法人 予防衛生協会

通番 2 個体番号 1021306011
 サル種 カニクイザル 産地 日本
 入荷日 2013/6/25 検疫終了日 2013/7/16

現地個体番号 111660C 収容ケージ 53111
 性別 ♂ 生年月日 2011/12/7

		検取時	第1回	第2回	第3回	終了前検査	備考
年月日		2013/6/25	2013/6/26			2013/7/9	
体重 (Kg)		1.90				2.11	
栄養状態		+				+	
細菌検査	ツベルクリン反応	-				-	
	赤痢菌	-					
	サルモネラ	-					
ウイルス検査	Bウイルス	-				-	
	サル水痘様ウイルス	-				-	
	SIV						
	STLV						
	SRV(抗体/DNA-PCR)	-/-				-/-	
	麻疹ウイルス						
寄生虫	蠕虫卵		-				
血液・血清生化学検査	WBC	× 10 ² /μl	65			107	
	RBC	× 10 ⁴ /μl	555			535	
	HGB	g/dl	14			13	
	HCT	%	42.2			40.9	
	MCV	fl	76.0			76.4	
	PLT	× 10 ⁴ /μl	45.5			37.1	
	W-SCC	× 10 ² /μl	34			64	
	W-LCC	× 10 ² /μl	31			43	
	TP	g/dl	6.9			7.0	
	BUN	mg/dl	11.8			17.7	
	GLU	mg/dl	65			60	
	GPT	IU/l	32			31	
	CRP	mg/dl	0.07			0.08	

検取時検査所見

特記事項なし。体温(直腸温): 38.8°C

終了前検査所見

特記事項なし。体温(直腸温): 39.4°C

検疫終了判定所見

検疫終了判定基準を満たした。

検疫終了 : **可**

担当獣医 岡林 佐知

検疫結果報告表

一般社団法人  予防衛生協会

通番 3 個体番号 1021306012
 サル種 カニクイザル 産地 日本
 入荷日 2013/6/25 検疫終了日 2013/7/16

現地個体番号 111600C 収容ケージ 53112
 性別 ♂ 生年月日 2011/10/23

		検収時	第1回	第2回	第3回	終了前検査	備考
年月日		2013/6/25	2013/6/26			2013/7/9	
体重 (Kg)		1.88				1.93	
栄養状態		+				+	
細菌検査	ツベルクリン反応	-				-	
	赤痢菌	-					
	サルモネラ	-					
ウイルス検査	Bウイルス	-				-	
	サル水痘様ウイルス	-				-	
	SIV						
	STLV						
	SRV(抗体/DNA-PCR)	-/-				-/-	
	麻疹ウイルス						
寄生虫	蠕虫卵		-				
血液・血清生化学検査	WBC	$\times 10^2 / \mu l$	93			133	
	RBC	$\times 10^4 / \mu l$	513			522	
	HGB	g/dl	13			13	
	HCT	%	39.3			39.7	
	MCV	fl	76.6			76.1	
	PLT	$\times 10^4 / \mu l$	44.3			36.7	
	W-SCC	$\times 10^2 / \mu l$	65			105	
	W-LCC	$\times 10^2 / \mu l$	28			28	
	TP	g/dl	6.4			7.1	
	BUN	mg/dl	13.7			18.0	
	GLU	mg/dl	89			73	
	GPT	IU/l	41			32	
	CRP	mg/dl	0.07			0.04	

検収時検査所見

特記事項なし。体温(直腸温): 38.7°C

終了前検査所見

特記事項なし。体温(直腸温): 39.6°C

検疫終了判定所見

検疫終了判定基準を満たした。

検疫終了 : **可**

担当獣医 岡林 佐知

検疫結果報告表

一般社団法人  予防衛生協会

通番 4 個体番号 1021306013
 サル種 カニクイザル 産地 日本
 入荷日 2013/6/25 検疫終了日 2013/7/16

現地個体番号 120090C 収容ケージ 53124
 性別 ♂ 生年月日 2012/4/25

		検収時	第1回	第2回	第3回	終了前検査	備考
年月日		2013/6/25	2013/6/26			2013/7/9	
体重 (Kg)		1.68				1.68	
栄養状態		+				+	
細菌検査	ツベルクリン反応	-				-	
	赤痢菌	-					
	サルモネラ	-					
ウイルス検査	Bウイルス	-				-	
	サル水痘様ウイルス	-				-	
	SIV						
	STLV						
	SRV(抗体/DNA-PCR)	-/-				-/-	
	麻疹ウイルス						
寄生虫	蠕虫卵		-				
血液・血清生化学検査	WBC	× 10 ² /μl	74			115	
	RBC	× 10 ⁴ /μl	570			559	
	HGB	g/dl	14			13	
	HCT	%	42.6			41.2	
	MCV	fl	74.7			73.7	
	PLT	× 10 ⁴ /μl	38.3			39.6	
	W-SCC	× 10 ² /μl	49			71	
	W-LCC	× 10 ² /μl	25			44	
	TP	g/dl	6.6			6.8	
	BUN	mg/dl	12.2			20.5	
	GLU	mg/dl	52			58	
	GPT	IU/l	37			21	
	CRP	mg/dl	0.12			0.04	

検収時検査所見

鼠径部皮膚汚濁。体格やや小、やや大腿部短い。体温(直腸温): 38.6°C

終了前検査所見

鼠径部皮膚汚濁。体格やや小、やや大腿部短い。体温(直腸温): 39.2°C

検疫終了判定所見

検疫終了判定基準を満たした。

検疫終了 : **可**

担当獣医 岡林 佐知

検疫結果報告表

一般社団法人  予防衛生協会

通番 5 個体番号 1021306014
 サル種 カニクイザル 産地 日本
 入荷日 2013/6/25 検疫終了日 2013/7/16

現地個体番号 111060C 収容ケージ 53125
 性別 ♂ 生年月日 2011/6/10

		検収時	第1回	第2回	第3回	終了前検査	備考
年月日		2013/6/25	2013/6/26			2013/7/9	
体重 (Kg)		1.73				1.80	
栄養状態		+				+	
細菌検査	ツベルクリン反応	—				—	
	赤痢菌	—					
	サルモネラ	—					
ウイルス検査	Bウイルス	—				—	
	サル水痘様ウイルス	—				—	
	SIV						
	STLV						
	SRV(抗体/DNA-PCR)	—/—				—/—	
	麻疹ウイルス						
寄生虫	蠕虫卵		—				
血液・血清生化学検査	WBC	× 10 ² /μl	69			90	
	RBC	× 10 ⁴ /μl	633			611	
	HGB	g/dl	15			14	
	HCT	%	47.3			45.2	
	MCV	fl	74.7			74.0	
	PLT	× 10 ⁴ /μl	30.2			27.4	
	W-SCC	× 10 ² /μl	44			69	
	W-LCC	× 10 ² /μl	25			21	
	TP	g/dl	6.0			6.3	
	BUN	mg/dl	10.0			15.5	
	GLU	mg/dl	78			74	
	GPT	IU/l	42			22	
	CRP	mg/dl	0.09			0.08	

検収時検査所見

特記事項なし。体温(直腸温): 38.0°C

終了前検査所見

特記事項なし。体温(直腸温): 38.5°C

検疫終了判定所見

検疫終了判定基準を満たした。

検疫終了 : **可**

担当獣医 岡林 佐知